

(平成30年3月分)

部 門	市況の概要
(青果部の動向) 全般	<p>3月の青果物は、2月末以降の気温上昇及び適度な降雨量が影響し、露地野菜の生育が促進されたため、入荷量は前年同月比で5%上回った。平成29年11月から前年を上回り続けていた単価は前年同月並みに落ち着いた。</p> <p>4月は、近郷野菜では、筍及び木の芽の入荷が最盛期を迎える。きゅうりやトマトなどの果菜類も徐々に増える。また、実えんどうの入荷が始まる。</p> <p>果実では、不知火は終盤となり、甘夏かん、清見オレンジは最盛期を迎える。いちご類は減少傾向となる。また、ハウスみかん、びわ、桜桃、マンゴー、スイカ等の入荷が始まる。</p>
野 菜	<p>野菜の入荷量は前年同月比で4%上回り、単価は3%下回った。</p> <p>根菜類の入荷量は、筍の入荷量が大幅に増加したため、前年同月比で7%上回った。大根の漬物加工需要が高く、単価も9%上回った。</p> <p>葉菜類の入荷量は前年同月比で11%上回り、単価は前年同月並みであった。</p> <p>果菜類の入荷量は前年同月比で11%上回り、単価は7%下回った。</p> <p>土物類の入荷量は玉葱の入荷量減少が影響し、前年同月比で10%下回った。単価は、バレイショが前年同月を大幅に下回ったため、21%下回った。</p>
果 実	<p>果実の入荷量は前年同月比で7%上回り、単価は前年同月並みであった。</p> <p>柑橘類の入荷量は前年同月比で3%下回り、単価は3%上回った。</p> <p>リンゴ類は、海外輸出が好調となったため、入荷量は前年同月比で21%上回り、単価も18%上回った。</p> <p>いちご類の入荷量は前年同月比で3%下回り、単価は7%上回った。</p> <p>メロン類の入荷量は前年同月比で19%下回り、単価は13%上回った。</p>

主要品目（野菜）	市況の概況
<b>【根菜類】</b> 長ダイコン	長崎、徳島を中心に入荷された。中旬以降の気温上昇から生育良好となり、入荷量は前年同月比で16%上回った。漬物加工需要が高く、単価も20%上回った。
西洋ニンジン	鹿児島、愛知、千葉から入荷された。入荷量は前年同月比で19%下回り、単価は36%上回った。
<b>【葉菜類】</b> ハクサイ	九州、滋賀を中心に入荷された。入荷量は前年同月比で15%上回り、単価は前年同月並みとなった。
キャベツ	愛知、大阪、兵庫、和歌山、滋賀等から入荷された。中旬以降の気温上昇から生育良好となり、入荷量は前年同月比で6%上回った。上中旬の不安定な入荷により単価高で推移したため、単価も18%上回った。
ホウレンソウ	徳島、福岡を中心に茨城、鹿児島、滋賀等から入荷された。入荷量は前年同月比で23%上回り、単価は12%下回った。
レタス	兵庫、徳島、岡山、愛媛等から入荷された。入荷量は前年同月比で6%上回り、単価は4%下回った。
<b>【果菜類】</b> キュウリ	宮崎、高知、徳島を中心に滋賀から入荷された。中旬以降の気温上昇から生育良好となり、入荷量は前年同月比で4%上回った。加工需要が高く、単価も5%上回った。
ナス	高知、岡山、熊本、福岡を中心に入荷された。入荷量は前年同月並みであり、単価は5%上回った。
トマト	熊本、福岡を中心に京都から入荷された。入荷量は前年同月並みであり、単価は7%下回った。

ピーマン

宮崎、高知、茨城を中心に入荷された。中旬以降の気温上昇から生育良好となり、入荷量は前年同月比で7%上回った。加工需要が高く、単価も17%上回った。

**【土物類】**

バレイショ  
(メークイン含む)

鹿児島、北海道から入荷された。前月の単価安を受け、入荷量は前年同月比で5%下回った。春商材の販売開始により、消費需要が低下し、単価も56%下回った。

タマネギ

静岡、長崎、北海道から入荷された。入荷量は前年同月比で17%下回り、単価は3%上回った。

**【その他野菜】**

生シイタケ

徳島を中心に岡山、和歌山から入荷された。入荷量は前年同月比で5%上回り。単価は9%下回った。

主要品目（果実）	市況の概況
普通みかん	和歌山、福岡を中心に入荷された。本年は不作年であるため、入荷量は前年同月比で10%下回った。一般消費需要が低く、単価も8%下回った。
いよかん	愛媛を中心に和歌山から入荷された。本年は収穫期間が長引いたため、入荷量は前年同月比で126%上回った。2月後半から単価高で推移したため、単価も4%上回った。
八朔	和歌山を中心に広島から入荷された。入荷量は前年同月比で25%下回り、単価は31%上回った。
不知火（デコボン）	和歌山、愛媛、香川、佐賀を中心に入荷された。入荷量は前年同月比で16%上回り、単価は前年同月並みであった。
サンふじ	青森から入荷された。例年よりも出荷が遅れたため、入荷量は前年同月比で5%上回った。多品種の輸出傾向に伴い、国内消費需要が高まり、単価も21%上回った。
いちご	福岡、熊本、大分、佐賀、長崎等から入荷された。入荷量は前年同月比で3%下回り、単価は7%上回った。
アールスメロン	静岡、高知から入荷された。入荷量は前年同月比で18%下回り、単価は14%上回った。